

科目名	幼児理解と教育相談						
	【卒業必修】 【幼稚園教諭二種必修】						
授業形態	講義	学年	1年	開講時期	後期	単位数	2単位
担当教員	郭 小蘭・木村 淳也						

内容および計画	授業の到達目標及びテーマ 1. 幼児の発達段階における特徴、幼児を取り巻く環境、特別な配慮が必要な障がい児について理解する。 2. 学校教育における教育相談の重要性を理解し、教育相談に必要なカウンセリングマインドについて理解する。 3. 幼児や保護者をめぐる多様な課題を多面的に理解するとともに、適切な支援方法を理解する。 授業の概要 1. 幼児の発達段階、取り巻く環境、また、特別な配慮が必要な障がい児について学ぶとともに、幼児とその家族を理解するための具体的方法としての観察、省察、記録、事例検討の意義とその一貫した方法について学ぶ。 2. 教師が行う教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の方法と基礎理論を学ぶ。 3. 幼児と保護者の生活上の課題の実際及び現代の教育現場における諸課題について学ぶ。 4. 幼児や保護者とのかかわり方の基本を理解し、学校外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を学ぶ。
	1
2	幼児を取り巻く環境の理解（家庭、地域社会、幼稚園、保育所）（担当：郭 小蘭）
3	障がいのある幼児の理解と関わり合い（担当：郭 小蘭）
4	幼児を理解するための観察と省察、その意義と方法（担当：郭 小蘭）
5	幼児を理解するための記録と指導計画、その意義と方法（担当：郭 小蘭）
6	幼児を理解するための事例検討（1）その意義と方法（担当：郭 小蘭）
7	幼児を理解するための事例検討（2）有意義な事例検討を行うための条件（担当：郭 小蘭）
8	教育相談とは何か（1）：教育相談の目的と内容（担当：木村淳也）
9	教育相談とは何か（2）：児童生徒をめぐる諸問題（担当：木村淳也）
10	相談の技法（1）：カウンセリング理論の基礎（担当：木村淳也）
11	相談の技法（2）：カウンセリング技法の基礎（担当：木村淳也）
12	相談の技法（3）：保護者との面接の進め方（担当：木村淳也）
13	教育現場における児童生徒の支援と連携（担当：木村淳也）
14	教育現場における相談支援の展開の実際（担当：木村淳也）
15	まとめ（担当：木村淳也）

教科書	タイトル	『子ども理解とカウンセリングマインド 保育臨床の視点から』		
	著者名	青木久子 間藤侑 河邊貴子	出版社	萌文書林
	ISBN	9784893470713	発行年	2009
	タイトル	『幼稚園教育要領』		
	著者名		出版社	フレーベル館
	ISBN		発行年	2017
	タイトル	『保育所保育指針 解説書』		
	著者名		出版社	フレーベル館
	ISBN		発行年	2008

参考書	『よくわかる教育相談』, ミネルヴァ書房, 2011. 『考え・実践する保育相談支援』, 保育出版社, 2012. 『事例で学ぶ 保育のための相談援助・支援』, 同文書院, 2013.
-----	--

成績評価	評価方法		割合
	総合評価レポート		80 %
	課題別レポート、提出物		20 %

学習到達目標	
--------	--

先修条件	
------	--

その他